

平成18年4月26日

## 子どもの文化芸術活動の充実方策について

大田区立蓮沼中学校長 岡本喜美子

## 学校における文化芸術活動の充実の意義

すべての生徒が素直な感性を持っていることを自身に気付かせる。

美しいものへの感動、未知のものへ謙虚に接すること、伝統への畏敬・尊重を体験させる。

日本人ならではの特質、よさに気付かせる。

文化を守る、育てる。＝国の品格を保つ、発展させる。人間としての品格を保つ。

やがて他の尊重に繋がり、国際化・人権尊重・世界平和につながる意識に広がる。

## 教育活動としてのよさ、生徒にとっての価値（新宿区立西戸山第二中学校での実践から）

- \* スタートラインが同じ学習活動であり、意欲が生きる。新たな評価につながる。
- \* 他学年の生徒や地域の方の前で発表したり、認められたりする経験ができる。
- \* 他の教育活動で得にくい体験をする。（伝統の尊重、息を合わせる、謙虚さ、など）
- \* 日本人の自覚、伝統文化への興味・関心が喚起される。

## 1. 学校において子どもの文化芸術活動を充実させるために求められるもの

## ○ 教育活動としての課題

- \* 教員や保護者の理解をどう得るか。

授業を公開し参観・参加してもらおう。学校便りなどで学習の様子を紹介する。

生徒の提案により模範演奏会を開催。保護者対象の講習会も実施。

- \* 教員・保護者の反応

生徒の真剣な取り組みの様子に心を打たれた。子どもの純粋さに安心した。

祖父母の思い出など家族の会話につながった。自国の伝統文化を再認識した。

- \* 優秀な演奏家・協力者をどうやって探すか

平素からのネットワークの活用。教育研究会などからの情報提供。

よい活動になるよう意見交換し、共に成果を検証していく姿勢で。

- \* 指導者の力量の向上…研修として認められるよう認定証を発行するなどの方策あり。

## ○ 教育課程外の学校行事として文化芸術活動に力を入れる際のポイント

- \* 効果的な導入場面の設定……学習発表会での演奏、他教科との連携（朗読と）
- \* 信頼できる演奏家の選出
- \* 場所の確保

2. 学校が地域と連携して文化芸術活動を推進する場合の課題は何か

○ 芸術家・専門家・地域人材の活用における困難点は？

- \* 人材探し……地域差。
- \* 謝礼…ボランティアで。しかし、楽器運搬、付属品の補充などの費用確保が困難。
- \* 導入の意図、ねらいの設定、日程や謝礼などの交渉など、芸術家との率直な意見交換が必要。コーディネーター役は誰が？

○ 教育委員会と学校の連携における課題は？

- \* 共有楽器の購入、メンテナンス、運搬、消耗品などの面での支援
- \* 報償費の予算確保。
- \* 協力団体の表彰など、何らかの謝意を表すこと。

3. 伝統文化を子どもたちに伝承していくに当たり、学校が果たせる役割は何か？

- \* 体験の機会を作る。
- \* 地域や専門家に協力依頼の発信をする。
- \* 卒業後の活動を把握し、楽器や場所などの点で協力する。

地域に期待する役割は何か？

- \* 学習成果の発表の場、活躍の場面を作る。
- \* 教師に依存しすぎない活動計画で。

※課題…地域の格差（専任・掛け持ち、教員の研修機会の有・無、楽器やメンテナンス 等）